

まくせのやしろ
万九千社
たちむしじんじや
立虫神社

社報



神戸の郷

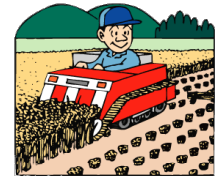
第五〇号 平成二十七年秋

「発行」九月吉日 代宮家 (錦田)

今季の祭 立虫神社 秋祭り

当地方では今年もまた大きな災害にも遭わず、五穀豊穰の秋を迎えました。秋祭りは、稲をはじめとする農作物が豊かに収穫できたこと、農業にはじまり、工業、商業など全ての産業が順調に運んでいること、日々平和に暮らしていけることなどを氏神さまに感謝するお祭りです。
氏子一同が心を合わせてご奉仕する、一年で最も重要なお祭りです、「大祭」と

も呼ばれています。どうか、この祭りが、今までもまして、賑々しく齋行できますように御協力のほどをよろしく願います。



十月三日(土) 夕刻

一、前夜祭

- ・ 深津一統祭 午後七時より
- ・ 竹内一統祭 午後七時半より

大正九年に立虫神社へと合祀された客神社にゆかり深い氏子である千家の竹内一統、古くから万九千社にゆかり深い神立の深津一統がこぞつて神社に参集します。

大祭の前夜にあたり、諸祭儀を恙なく齋行する旨を神々に奉告し祈念する、古式に則った厳粛な祭典を行います。

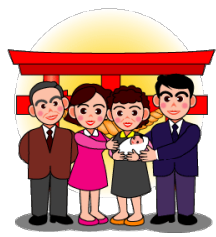
十月四日(日)

一、子禱神事
並びに氏子入り奉告祭

午前九時より
神社にて

平成二十六年の八月一日から今年の七月三十一日頃までに誕生された神立千家の子供さんとその家族がそろって参拝し、皆の健やかな成長をお祈りします。また、昨年の秋祭り以後、この地に住まいされ、新たに氏子への仲間入りをされた皆様にも御昇殿いただきます。

※当該の氏子さんは、礼を失しない平服(背広ネクタイ等)にて、午前九時までに拝殿に御参集下さい。



一、大祭 祭典

午前十時より

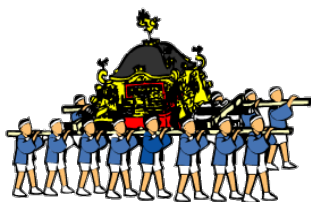
秋祭りでも最も重要な祭典です。宮司以下の神主・氏子代表が昇殿し、古式に則って厳かに御奉仕します。

御神前にたくさんのお供え物をして、氏神さまをお持てなしし、宮司が祝詞を奏上し、皆が玉串を捧げて感謝の気持ちを伝えるお供えして人々の幸を祈ります。 ※※お供え、お米当番の方は、当日午前八時半から十時までに、神社へお供えのうえ御参拝下さい。

一、御神幸 待練り神事

千家第一公民館にてお祭りの後、午後一時頃、神社へ向けて御神輿を中心とする行列が出発。午後五時頃に神社へ帰着、還幸祭を行います。

一年に一度、御神輿に遷られた氏神さまの御霊が、氏子の暮らす



神立千家の地にお出ましになられます。皆の暮らしや地域の繁栄ぶりをご覧になり、穏やかで幸の多い暮らしへとおかげを授けられる神事です。

練り歩く行列の先導役は、猿田比古命。悪霊を祓い、大地を鎮めようと、青竹を振り回して走り回る番内さん。幸多かれと御神酒をふるまう茶立姫。無病息災を祈願し、恐い顔でゆつくりと進む御獅子。皆おなじみの顔触れです。

主役の氏神さまは、神和会、千親会の会員をはじめ小学校一年生が心を込めておひきする御神輿にのって進まれます。今年は、北回りの順路。夕方、神社へ到着すると、御獅子の拝が行われ、氏神さまの御霊は本殿へとお還りになります。



一、神楽奉納

午後一時頃より、夕刻まで

約四百年の歴史と伝統を誇る出雲神楽。当社には、神主神楽の命脈を今に伝え、神主と氏子が一緒に護持する「万九千社立虫神社神代神楽保存会」があります。

クライマックスは、夕方四時頃から、あいかわ保育園の子供たちが特別に奉納する八岐大蛇退治の神楽、その後、六時頃にかけて、神楽保存会が舞い奏でる「八戸」(八岐大蛇退治)でしょう。

神楽が成就し日没にかけて

●餅まき 協賛／神楽保存会

●神事花倒しとその争奪、

授与 協賛／神和会・千親会

が行われます。ここに、秋祭り最高潮をむかえます。

ご多忙な氏子さんには、ぜひこの夕方、四時頃から御社頭に参拝なさるのがよろしいかと思えます。

《あとがき》昨年十月十日に厳肅かつ盛大に齋行されました万九千社立虫神社正遷宮から早くも一周年を迎えようとしています。皆様に重ねて厚く厚く心より御礼申し上げます。宮司謹白。